

「竹あかり」による 足利まちなかにぎわい創出

令和7年度 大学地域連携活動支援事業 中間報告

事業主体：足利大学 工学部／看護学部、足利短期大学 こども学科

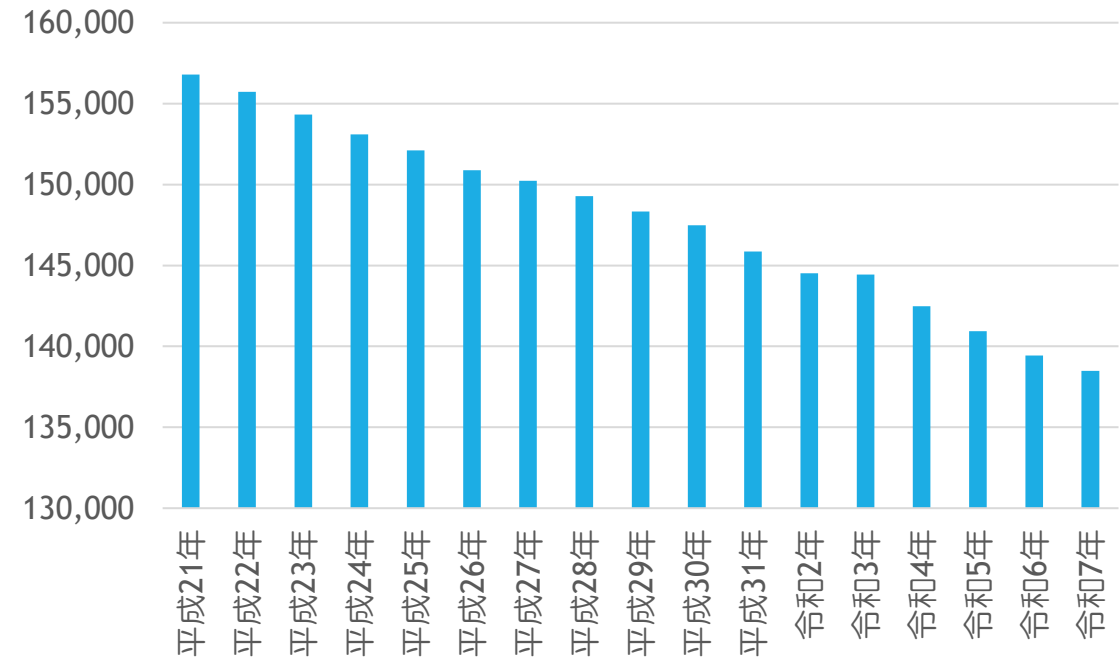
協力：足利市地域創生課



事業の背景

- 地域課題：人口減少が進む足利市中心部の現状。
- 地域資源：活用されていない「放置竹林」という課題。

足利市の人口推移



学生と地域による足利市中心市街地のにぎわい創出計画

基礎研究

2015年度

カレッジ・トーク
まちなかアンケート
タウンウォッチング

にぎわい創出策の検討
学生の街なかへの意識調査・動線調査
にぎわい度計測

2020 年度

足利市旧花街研究
空き家・空地活用研究

4. プロジェクトの実施事業の内容①

① 足利市長とのカレッジトーク

(足利工業大学 8/4実施)

●参加学生へのアンケート調査

(足利市内の場所に対する認知・魅力、不足・必要なもの、要望・提案など)



2015年の夏、カレッジ・トークの様子

学生と地域による足利市中心市街地のにぎわい創出計画

基礎研究

カレッジ・トーク
まちなかアンケート
タウンウォッチング

にぎわい創出策の検討
学生の街なかへの意識調査・動線調査
にぎわい度計測

2020 年度

足利市旧花街研究
空き家・空地活用研究

さまざまな課題

- 足利の夜のにぎわい
- 足利のまちなかの空き家
- 足利山間部の放置竹林問題
- 学生と市民との交流不足



「竹あかり」による
地域に根差したにぎわいの創出



事業の目的

目的①：放置竹林を活用した地域活性化

目的②：空き蔵「蔵風土」を拠点とした世代間交流の創出

目的③：学生の課題解決力向上と次世代リーダーの育成

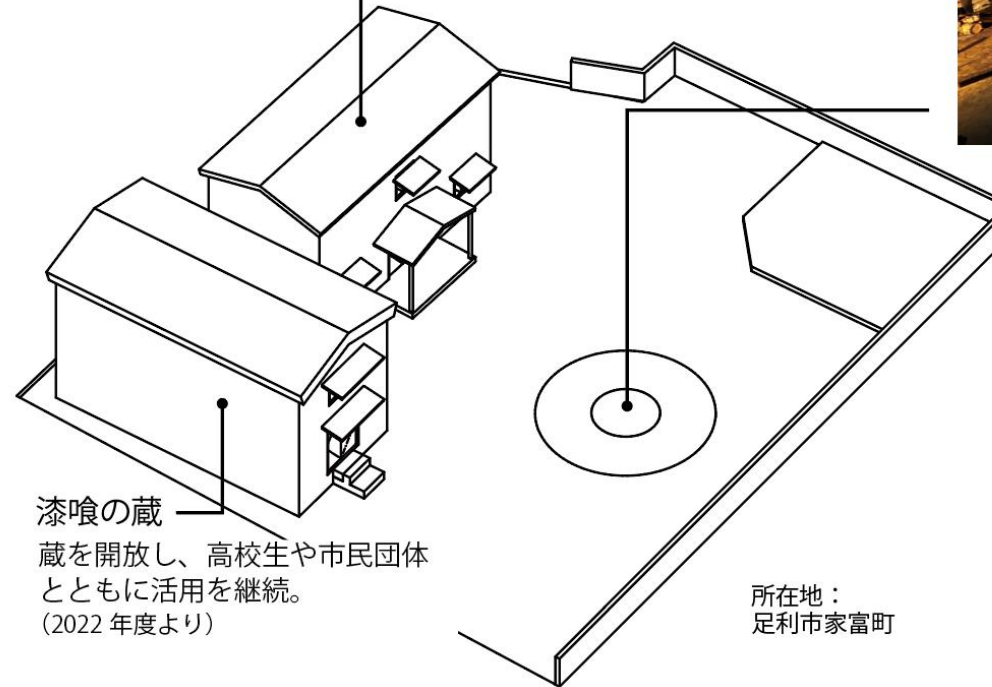
今年度の活動実績① 拠点整備と活用

- ・ 蔵風土の内部整備：シェアスペースとしての基盤を構築
- ・ スマートロック導入：地域住民による自発的な利用を可能に
- ・ 前庭の再整備：「溜まれる場」としての空間づくり



大谷石の蔵 蔵風土

2023 年度から蔵を清掃・補修をして、地域住民に広く開放する準備中。



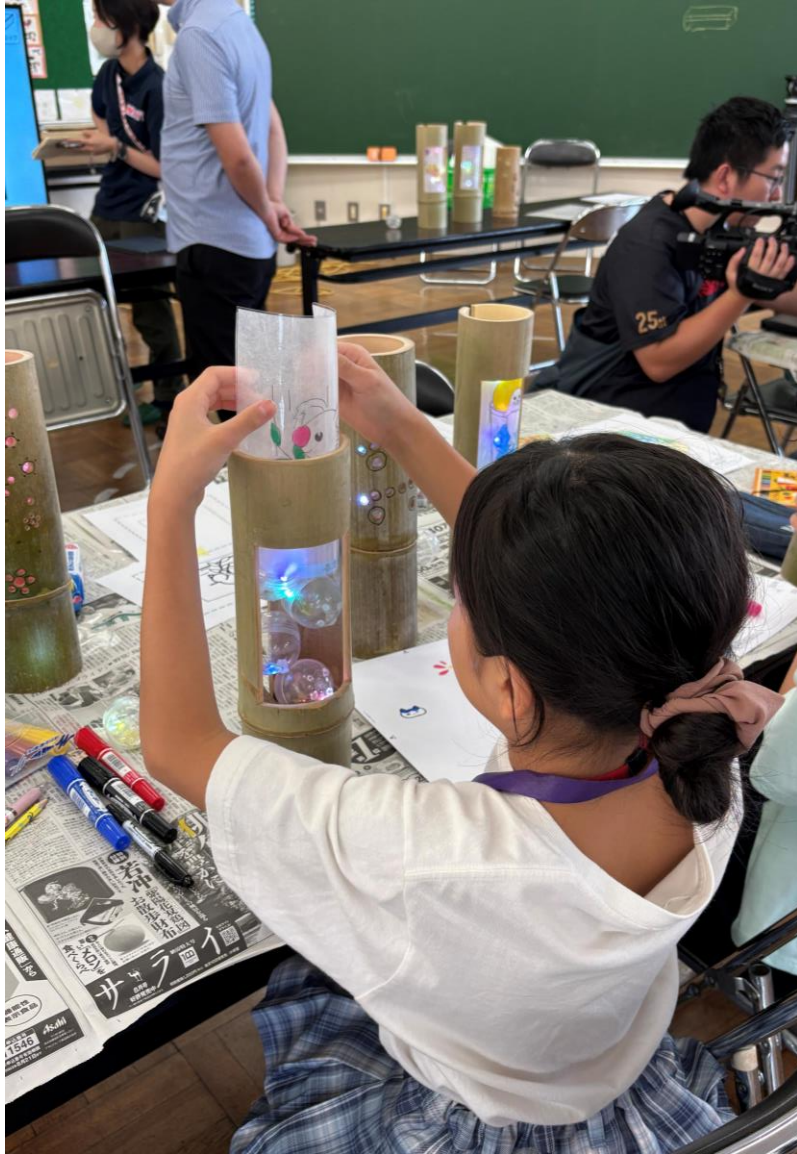
漆喰の蔵
蔵を開放し、高校生や市民団体とともに活用を継続。
(2022 年度より)



円形広場

竹灯りと竹チップブロックとの共演によるにぎわい。
(2021 年度から実施)

所在地：
足利市家富町



今年度の活動実績② 竹あかりワークショップ

- 放置竹林の伐採
- 市内各所でのワークショップ開催
 - 株式会社マルサン
 - 小学生から80代の方まで（15名）
 - 足利市立けやき小学校
 - 放課後こども教室（12名）
 - 特別支援学級（10名）
 - 小学1年生（35名）
 - 小学4年生（50名）
- 世代を超えた交流の創出



今年度の活動実績③ 大学OCでの活動発表

PBL「課題解決型学習」に力を入れています

- ① 課題の発見：地域に埋もれている問題を見つけ出すこと
- ② アイデアの創造：その問題に対する、斬新な解決策を考えること
- ③ 実践と検証：実際に計画を実行に移し、効果を確認すること

活動拠点の整備と新たな挑戦

01

スマートロックを活用した蔵の運用研究

02

竹チップブロックを活用したベンチ開発
と前庭整備の強化

今後の目標と展望

- ・ 成果目標①：地域との取り組みを年間10回以上実施
- ・ 成果目標②：SNSフォロワー数前年度比10%増加
- ・ 教育的効果：学生の課題解決力・次世代リーダー育成
- ・ 将来の姿：持続可能な地域社会の形成

